

1. 会議名	第1回出雲市地場中小企業・小規模企業振興会議
2. 開催日時	令和4年7月26日(火) 18:00~19:30
3. 開催場所	出雲市役所本庁 くにびき大ホール
4. 出席者	<p>《委員》</p> <p>【出席】</p> <p>山岡 尚会長、長岡 明生副会長、安部 宏委員、板倉 一郎委員、伊藤 繁満委員、陰山 篤也委員、加村 健悟委員、加本 るい委員、來間 久委員、坂根 俊委員、田中 由美子委員、壺倉 浩平委員、長瀬 理更委員、橋本 孝委員、原 久子委員、原 八重子委員、馬庭 伸行委員、三島 善子委員、持田 幹男委員、渡部 由美委員</p> <p>【欠席】</p> <p>須山 賢也委員、中澤 雅美委員、楨原 綾子委員</p> <p>《事務局》</p> <p>商工振興課長、産業政策課長、 商工振興課（5名）、21世紀出雲産業支援センター（2名） 株式会社バイタルリード（3名）</p>
5. 議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 出雲市中小企業・小規模企業振興計画に係るこれまでの取組実績と令和4年度目標について 2 出雲市中小企業・小規模企業振興計画に係るこれまでの取組（決算）と令和4年度予算について 3 出雲市中小・小規模企業状況調査の結果について
6. 会議内容 ※敬称略	<p>■要約</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出雲市中小企業・小規模企業振興計画事業の評価結果、出雲市中小企業・小規模企業状況調査結果及び次期振興計画策定スケジュールについて審議した。 ・現計画の評価としては「事業内容の進捗報告のみが机上の結果として伝えられ、内容が印象に残らなかった」「出雲ブランド商品審査会の審査基準に課題があった」といった意見があった。第2期計画では、計画期間中に事業の進捗状況や目標の達成状況を年度ごとに検証していく。 ・状況調査の結果は、今後、クロス集計などの詳細な分析を行い、第2回（次回）の振興会議において調査結果報告書を資料として提示する。 ・コロナ禍の状況を踏まえた上で、5年後の未来を見据えた前向きで元気が出るような次期振興計画を策定することを目指す。 ・次回の振興会議の開催時期は8月下旬～9月上旬頃を予定。次期振興計画の骨子案について審議する。 <p>■内容</p> <p><1. 出雲市中小企業・小規模企業振興計画に係るこれまでの取組実績と令和4年度目標について 及び 2. 出雲市中小企業・小規模企業振興計画に係るこれまでの取組（決算）と令和4年度予算について></p> <p>事務局 （議題(1)(2)について配布資料の『資料1』『資料2』をもとに説明）</p> <p>委員 令和4年度予算は新型コロナウイルス感染症対策が主になるが、デジタル化の支援など、コロナ対策以外の施策も考える必要がある。令和3年度事業の検証にあたり、コロナ対策と各項目の関係を整理した方が良い。</p>

- 事務局 了解した。
- 委員 現計画は、期間中に指標の変更があった項目があり、検証をしにくくなっている。したがって、令和3年度の単年度の実績報告という形になっている。現計画の5年間の評価結果は、今後、とりまとめを別途行うのか。それとも、今回の報告をもって計画の検証は終了となるのか。
- 事務局 『資料2』に記載している推進施策について、今後各項目の評価をお示しして、皆様にご意見をいただきながら、次期計画の施策として引き続き実施するか検討する。基本的に全て必要な事業と認識しているが、項目自体の見直しも含めてご意見をいただきたい。
- 委員 出雲ブランド商品審査会の審査基準について、現時点で基準に届いておらず認定されていないが、今後の伸びしろに期待したい惜しい商品もあった。次期振興計画ではそのような商品も評価されるよう盛り込んでほしい。
- 事務局 出雲ブランド商品の審査に落ちた商品の中でも、食品であったため「おいしい出雲」へ申請された事例も踏まえて、今後出雲市全体のブランド商品の考え方の検討が必要。出雲にはまだ認知が少なくポテンシャルのある商品があると考えており、引き続き出雲ブランド商品申請の促進を掘り起こし含めて指導し取り組んでいく。
- 委員 これまでの振興会議はワーキンググループの取り組み方やその結果報告に終始してしまったのではないか。事業内容の進捗報告のみが机上の結果として伝えられ、内容が印象に残らなかった。推進施策の項目に対する掘り下げ方が浅く、ワーキンググループで議論されたものが、結果として振興会議の結果として位置づけられたのではないか。また、既に次期計画策定における予算が決まっているということは、この事業内容案がベースになるのか。せっかく幅広い取り組み施策を実施するので、計画を策定するにあたり、再度項目の掘り下げを振興会議で行いたい。個人的には創業者のビジネスプランコンテストという踏み込んだ表現があり変化も感じるが、振興会議委員の意識づけができる機会を望む。
- 事務局 各推進施策及びモデル事業について検証する。ビジネスプランコンテストについて、令和3年度以降未実施の状況である。予算が出れば良い取り組みになりえるが、現状意義を打ち出せず、予算がつかない。次回の課題である。
- 委員 計画ができて以降、振興会議で都度予算状況などの報告はあったが、事業の是非等は検討していなかった。今後の振興会議の進め方についても検討が必要。また、振興会議の設置要綱第2条1号から8号の見直しも行う必要があるのではないか。

< 3. 出雲市中小企業・小規模企業状況調査 結果報告 >

- 事務局 (議題(3)について配布資料の『資料3』『状況調査結果報告書』を基に説明)
その他クロス集計データに関する要望があればご相談いただきたい。次に、次期振興計画の策定スケジュールを説明する。
(『次期出雲市中小企業・小規模企業振興計画 策定スケジュール』を基に説明)
- 委員 状況調査について意見はあるか。
- 委員 p.5の、「今年度強化したい点」について「細やかな対応・サービス」が今回2番目に多い項目として挙げた理由はどのように考えるか。個人的には人手不足や顧客ニーズの多様化による顧客満足度の低下が原因と推測した。一方で、p.4の事業所における現在の経営上の問題点では、「製品サービス力の低下」は割合が低く矛盾を感じる。
- 事務局 正確な意味合いは不明である。
- 委員 前回調査時もこの選択肢はあったか。
- 事務局 選択肢はあった。前回調査時の「細やかな対応・サービス」の項目について、現在強みとし

と感じている点として挙げた事業者が 56.6%、今後強化したい点として挙げた事業者が 18.3%であった。今回調査では現在の強みを質問する項目がなく、今後強化したい点として挙げた事業者が 28.0%で、前回と比較して増えた。前回調査時に現在の強み回答した事業者が、最近の売上減少でこの項目の課題に気付いたのではないかと推測する。

委員 お客様の要望が細やかで多様化していることが、事業者のサービス対応意識の向上に繋がっているのではないかと推測する。

委員 コロナ禍の接客についてスタッフから様々意見が出て、サービスについて改めて考え直すきっかけになった。

委員 お客様に求められるレベルが高まっていると感じる。従来は喜ばれていたサービスが、コロナ禍になり反応が逆転するケースもある。一方で今までどおりのサービスを望む方もいる。対応する難しさを日々感じている。

委員 p.14 の環境問題に取り組む上での課題という設問は今後も継続して調査いただきたい。この設問は環境問題に取り組む意識を喚起する効果がある。環境問題は最近課題意識が芽生えてきたもので、回答結果から、「環境問題に取り組みたいけど何をしたら良いのか分からない」という状況が見える。一方、状況を踏まえ事業者が勉強する場の必要性を感じる。今や子どもたちの方が環境問題について詳しいと思う。

委員 p.6 の「今後、どのようにデジタル化を進めていきたいか」について、個人企業の 41.1%がデジタル化を進める予定はないと回答し、p.15 の事業承継の予定について、今回の調査では全体の約 4 分の 1 が事業承継する予定がないと回答している。両項目について回答者の属性情報を整理して詳しい集計をいただきたい。

委員 出雲市で計画を策定する意義は、産業界の実態を理解し政策に活かす点にある。書面調査は参考になるが、前回調査はコロナ禍の前で今回と取り巻く状況が全く違い単純に比較できない部分が多い。現場の実態を理解するにあたり、先ほどの委員のやり取りだけでもイメージが具体的になった。現場の実態把握方法を市が工夫して実行していただきたい。次期振興計画の期間は 5 年で、技術の進歩は大きいと考える。事業承継やデジタル化への課題と同じくらい、技術の進歩に出雲市としてどう対応するか考える必要がある。例えば自動車の EV 化は不透明だが、確実に進んでいく状況に対して、自動車部品産業はどのように取り組むのか。複眼的に視野に入れながら計画策定を進めたい。目の前の対応もしながら、出雲市の振興計画はもう少し先を見据え前向きで元気が出るようなものになると良い。

事務局 新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら現場の声を聞き、実態を把握するよう努めている。コロナ禍に輪をかけて仕入単価の上昇という悪条件もあった。今後の経済対策を考えていく上でも引き続き現場の聞き取りをしていく。たちまちの経済対策も考える必要がある一方で、コロナ禍をどう乗り切っていくかという視点が次期振興計画に大きく影響する。情報収集・ヒアリングなどをしながら考えていく。

事務局 次回の第 2 回振興会議は 8 月下旬もしくは 9 月上旬頃を予定している。正式な日時が決まり次第ご案内を差し上げる。詳細な調査結果の報告はそれまでに準備しておく。今回の調査結果は概要版のため、全ての結果とクロス集計を含めご報告をさせていただく。先に資料を委員の皆様へ送り、ご質問などをあとでお受けする形になると思う。現計画の取り組み内容も検証し、ご説明した上で今回策定する計画の骨子をお話する。

以上